

《 本文書の対象となる方 》

2020年1月1日～2026年4月30日の間に負荷心筋シンチ検査を実施された方

課題名	自施設コントロールデータベースを用いた心筋虚血の定量的評価法の検討
承認番号	番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属：放射線科部 氏名：仲澤 拓翔
研究期間	(西暦) 2026年 3月 ～ (西暦) 2027年 11月
研究の意義・目的	心筋血流シンチという検査は痛みがほとんどなく心臓の血の流れを診ることができ手術適応や心疾患の発症リスクを予測できる検査です。しかし特殊な検査であり正常、異常を判断するには一定の知識と経験が必要となります。正常な心筋血流シンチを集めた正常データベース(以下 NDB)は存在しますが、当院の撮影条件と異なる部分がありどの程度確からしいか検証されておりません。本研究では当院の心筋血流データベース(以下 CDB)を作成し NDB と比較検証することで心筋シンチの診断精度を向上させることを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	対象期間：2020年1月～2026年4月までに当院で負荷心筋血流シンチを受けられた患者様 方法： ①放射線科専門医の診断により心筋血流が正常と判断された患者様の心筋血流シンチの結果を用いて男女別に CDB を作成します。 ②作成した CDB 検証のために、心筋血流が正常と判断された患者様の群と異常と判断された患者様の群をそれぞれ新たに集め、CDB がそれらをどの程度正しく判断できるかを NDB と比較しながら検証します。 研究に組み入れないケース：心筋症を合併されている患者様
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	CDB 作成のために心筋シンチの診断結果を確認して登録する症例を選びます。その中に心筋梗塞を起こした症例が入っていると検討の結果に影響を及ぼす可能性があるため過去に心筋梗塞を起こしているか否かを検査目的、他の検査結果、既往歴から判断いたします。また心筋症を合併している場合は登録できません。最終的に条件をクリアできた症例の心筋血流シンチの結果画像を集めて CDB を作成します。検証のための正常群、異常群も同様の方法で症例を選びます。収集したデータは、誰のデータか分からないように個人情報を加工した上で、統計的処理を行います。個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
利用又は提供する 試料・情報の項目	患者様の心筋血流シンチの結果画像、心筋血流シンチの診断結果、性別、CT/MRI/CAG の診断結果、検査目的、既往歴、合併症の有無と内容

様式 5

<p>試料・情報を 利用する者の範囲</p>	<p>機関名：横浜市立みなと赤十字病院 所 属：放射線科部 氏 名：仲澤拓翔</p>
<p>試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)</p>	<p>機関名：横浜市立みなと赤十字病院 所 属：放射線科部 氏 名：仲澤拓翔 外部への提供は行わない。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 放射線科部 仲澤拓翔 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101</p>